

学校評価（最終）について

本校では、年2回の自己評価を行っています。1回目は9月（中間評価）、2回目は2月（最終評価）です。自己評価の資料として、8月と12月にご協力いただく保護者アンケートや生徒アンケートなどを参考にしています。また、この自己評価は、客観性を高めるために、学外の関係者評価委員によって評価していただいています。この評価を学校評価と呼んでいます。本日よりでは、今年度の最終評価結果についてご報告いたします。

<重点目標①（知）> 確かな学力の育成

評価の視点	対象	アンケート項目	%	最終評価
自分の考えを分かりやすく伝える・表現する力の育成と学力の向上	生徒	①授業では、集中して先生や友達の話の聞いている。	100	→
		②授業では、話し合い活動に積極的に取り組んでいる。	100	→
	保護者	①お子さんは、「授業が分かる」と言っている。	82	→
		②お子さんは、学習に対して意欲的であると感ずる。	73	→
	教員	①校内研究の研究主題を意識して学習指導に取り組んでいる。	100	→
		②ゴールイメージを持ち、それに到達できるような資料の提示をしている。	100	→
家庭学習の質的向上と学習習慣の定着	生徒	③家庭でも時間を決めて学習に取り組んでいる。	89	→
		④英語検定取得に向けて努力している。	78	→
	保護者	③お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いている。	71	→
		④お子さんは、定期テストに向けて計画的に家庭学習に取り組んでいる。	71	→
	教員	④授業とリンクした予習・復習の課題を出している。	67	→
		⑤読書指導をしている。	67	→
読書活動の充実	生徒	⑤学校や家庭で読書をしている。	66	→
	保護者	⑤家庭でも読書の習慣が身に付いている。	43	→
	教員	⑤読書指導をしている。	67	→

B

→

【課題①】計画的に学習を進めている生徒があまり多くない

- 定期テストに向けた取組
 - テスト計画表にワークの進め方を細かく記載する。
- ↓
- ・計画的にワークを進めることができる生徒が増えている。
- ・自分の学習の足跡がわかるテスト計画表への改善が必要である。

取組の成果 ○

【課題②】家庭での読書習慣が身に付いている生徒があまり多くない

- 本に興味・関心を持たせる取組
 - 新刊紹介、ビブリオバトルを行い、自分が読んでいる本以外に興味を持たせる。
- ↓
- ・平均貸出冊数は増加しているが、特定の生徒に偏っている。
- ・生徒、職員が一体となった計画的な取組が必要である。

取組の成果 △

《学校関係者評価委員会から》

- 重点目標①②について
- ・家庭での読書量を増やすには、保護者の協力が必要不可欠である。
- ・ICT機器の活用推進と読書量を増やすことを同時に進めていく場合、生徒はICTの活用に多くの時間を使うことが予想される。読書量を増やすには、計画的な取組が必要である。ノーゲームデーの活用も考えられるのではないかと。
- ・いじめや不登校について丁寧に対応してもらっている。学校に登校できるようになった生徒がいるというのはうれしいことである。引き続き丁寧な対応をお願いしたい。

<重点目標③（体）> 健やかな体の育成

評価の視点	対象	アンケート項目	%	最終評価
体育や部活動の充実による体力・運動能力の向上	生徒	①体育や部活動を通して、体力の向上を図っている。	91	→
	保護者	①学校は、体育・部活動を充実させ、体力の向上・耐える力の向上を図っている。	95	→
	教員	①体力・運動能力の向上や耐える力の向上を図っている。	89	→
安心・安全な学校づくりと防災教育の充実	教員	②学校内外の安全指導の徹底を図っている。	91	→
学校と家庭の連携による共同体制づくり	生徒	⑫11時ごろまでは寝ている。	64	→
		⑬ゲーム、パソコン、スマホ等は家庭の決まりをつくって、それを守っている。	81	→
	保護者	⑫お子さんは、11時頃までは寝ている。	69	→
		⑬お子さんは、ゲーム、パソコン、スマホ等は家庭の決まりをつくって、守っている。	64	→
教員	⑭望ましい生活習慣を身に付けさせるための取組をしている。	100	→	

A

→

<重点目標④> 信頼される学校づくり

評価の視点	対象	アンケート項目	%	最終評価
地域に開かれた学校づくり	生徒	⑭学校に行くのは楽しい。	85	→
		⑮信頼できる先生がいる。	91	→
		⑯将来の夢や目標を持っている。	80	→
	保護者	⑰地域の行事に積極的に参加している。	77	→
		⑩学校は、子どもたちが地域で活躍できる機会を充実させている。	93	→
		⑭お子さんは、学校へ行くのが楽しそうである。	91	→
教員	⑮信頼できる先生がいる。	93	→	
	⑯お子さんは、将来の夢や目標を持っている。	71	→	

A

→

<重点目標⑤> 組織的な学校づくり

評価の視点	対象	アンケート項目	%	最終評価
業務改善の取組	保護者	⑰学校は、多忙化改善に向けた取り組みを積極的に進めている。	93	→
	教員	⑰業務改善に向けた積極的な取組を実践している。	100	→
組織的な学校づくり	教員	⑰各種たより等を通じて、情報発信している。	90	→
		⑱生徒のことに付いて、保護者との連絡をとっている。	100	→
		⑰服務規律を遵守している。	100	→
		⑱管理職への報告・連絡・相談を行っている。	100	→

A

→

《学校関係者評価委員会から》

- 全体を通して
- ・読書は積み重ねが大切である。小さいころからどれだけ読書に親しんでいるかが大切である。
- ・たくさん本を読んだ生徒には図書カードをプレゼントするというのはどうだろうか。
- ・文化祭の合唱は本当に素晴らしく、感動を与えてくれた。
- ・11月19日に行われた全校道徳は、コロナ禍の中で絶対に必要な授業だと思った。自分たちの周りでも、他の市町のような感染状況にいつなるかわからない。その時、差別や偏見を子どもたちが持たないための授業であった。非常によいタイミングでの授業であった。
- ・コロナ禍の中、昨年とほとんど変わらない教育活動を行ったということは、対策として大変な苦勞があったと思う。学校はよく頑張ってくれたと思う。
- ・北國新聞の地鳴りへの投稿は、新聞に載った生徒にとって大きな自信になると思う。今後も継続して欲しい。

【課題③】家庭でのルール（テレビ・ゲーム・パソコンなど）が守れない生徒がいる

- ゲーム・パソコン・スマホ等の使用時間を減らす取組（ゲーム・パソコン・スマホ等の使用時間を短くすることで睡眠時間を確保させる）
- 使用時間のアンケートを取り、自分の生活を振り返らせる。ノーゲームデーを設定し、使用せず時間を有効に使うよう指導する。
- 睡眠に関する講話（生徒・保護者対象）



- ・家庭での意識は確実に高まっている。
- ・タブレットの活用を推進する中で、ルール作りが一層大切になる。
- ・ノーゲームデーの設定は、大切な取組であり継続して行く。

取組の成果 ◎

《学校関係者評価委員会から》

- 重点目標③④⑤について
- ・3年生は受験勉強の取組が本格化しているので、睡眠時間が遅くなっている。進路実現のために頑張ってもらいたい。
- ・「信頼できる先生がいる」と答えている生徒、保護者が90%を超えている。先生方の努力があつたことだと思う。



令和3年度の新入生は17名!! ~入学説明会~

2月5日(金)に入学説明会がありました。来年度の新入生は、門前東小と門前西小から合計17名の予定です。英語の体験授業では、先輩となる中学1年生と一緒に英語の学習にチャレンジしました。中学生が英語で質問しても、すでに小学校から外国語として勉強している小学生はスムーズに答えることができました。そのあと、生徒会執行部が中学校生活について説明しました。部活動についてはどの部に入るか決めている児童が多く、新しく始まる部活動を楽しみにしているようでした。



仕事について考えました ~1年生 職業人講話~

講師として、「警察の仕事」について門前交番所長の広橋嘉弘さん、「お店の仕事」について下口十吾さん、「市役所の仕事」について野中淳也さん、「美容師の仕事」として西里絵さんにお話ししていただきました。この4つの職業は、1年生23名にアンケートをとった結果、お話を聞きたいという希望が多かった職業です。大変なことややりがい、その職業に就いた理由などいろいろなお話を聞くことができ、職業選択の参考になりました。

◇広橋さんのお話を聞いて

お話を聞いて、警察学校での同期は大切に、宝物だという言葉が素敵だと思いました。また、警察官になるためには、我慢強さや協調性などが必要で、どんなに優秀な人でも協調性がないと損をすると聞いて、仕事というのはとても大変なものだとわかりました。また、仕事をしていて関わった人から何年かたって感謝してもらえることがうれしいと聞いて、いい仕事だと思いました。今日のお話を聞いて、働くことの大変さを知ることができました。私もこれから将来の夢をあきらめず、頑張っただけかなえたいと思います。



◇下口さんのお話を聞いて

「お金とは影である」という話が下口さんと同じように胸に刺さりました。自分は哲学のことはわからないけれども、この考えは将来必ず役に立つだろうと感じました。働くことで人の役に立ち、お客様を笑顔にしているということもすごいいいと思いました。また、自分が売りたいものを売るのではなく、お客様が欲しいものを売ることが大切ということも印象に残りました。お客様を喜ばせるためにいろいろなことをするというのは、まさに職業人の鑑だと思いました。今日のお話の内容を心がけて、これから勉強、部活動に励んでいきたいと思いました。



◇野中さんのお話を聞いて

今日の講話は、2年生の職場体験に向けて勉強になりました。お話を聞いて、いろいろなことを心がけているということを知り、「なるほど」と思いました。中でも、お店の外に出て地域の人たちとたくさん会話をすることを知り、印象と違い驚きました。そこから、コミュニケーションが仕事に大切だということを知りました。また、地域の人にやりたいことが伝わらないときが辛いと聞き、大変だと思いました。今回の講話で意外なことをたくさん知り、学ぶことができました。「with コロナ」の時代、これからも頑張ってください!



◇西さんのお話を聞いて

私は、美容師さんはお客さんに満足していただくために多くの努力を行っていることを知りました。また、裏では多くの勉強や練習をしていると知り、驚きました。私は「R」に髪を切りに行った際、話が弾み、とても楽しかったという印象が強く残っていて、「また切りに行きたい」というふうに何度行っても思っています。西さんは会話をされていて楽しい人だと思っていました。ですが、お客さんとの会話を弾ませるために相手の好きなことなどを引き出しているということを知り、「西さんはお客さんが喜んでくれるように会話をしてくれているんだ」と私の思いが変化しました。今日のお話を聞いて、働くことの大変さを知りました。今日の学びを生かして、一日一日を過ごしたいです。



門前の伝統芸能を学ぶ

◇門前とどろ(1月28日~3月4日)

1年生・2年生が太鼓、三味線、踊り、唄に分かれて、とどろ保存会の皆さんに教えてもらいながら頑張っています。5回の練習でかなり上手になりました。コロナ禍ということで、去年は発表の機会がありませんでしたが、今年は4月3日に開催される雪割草まつりでの発表を目標に頑張っています。



◇能登麦屋節講習会(2月26日)

輪島市役所門前総合支所の白崎さんから、能登麦屋節のいわれを学習しました。その後、能登麦屋節保存会の皆さんによる実演を鑑賞しました。質問コーナーでは、「保存会の活動について」「唄う時のコツ」「能登麦屋節への思い」などが質問され、保存会会長の井上さんに答えていただきました。



今年度の給食費について

2月22日に開催された共同調理場運営委員会での確認事項についてお知らせします。今年度は、コロナの流行、夏の日照不足や大雪の影響などで食材の価格が高騰し、集金額に不足が生じました。そのため、2月3日に配布した「給食費3月調整金について」の中で、実際に提供した給食数に4食分上乘せされた額が3月の集金額となっております。何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。



3月の予定

1	月	生活・学習集会
2	火	生徒集会 学納金口座振替日 PTA役員会(18:30~)
5	金	1・2年期末テスト①
6	土	ノーゲームデー
8	月	1・2年期末テスト②
9	火	学力検査①
10	水	学力検査②
12	金	卒業式(10:00)
16	火	ノーゲームデー
17	水	公立高校合格発表
24	水	修了式 離任式(予定)
26	金	ノーゲームデー



門前中学校の最新の情報は、インターネットのホームページでもご覧になれます。また、家庭学習で活用できるコーナーもあります。是非ご覧ください!!

輪島市立門前中学校

検索

